

料金算定の前提となる電力需要想定について

2022年12月26日

北陸電力株式会社

1. 需要想定の方考え方（概要）

- 料金原価算定期間（2023～2025年度）における年度・月別の「電力量（kWh）」と、最も多く使用される時間（1時間平均）の電力需要「最大電力（kW）」を想定しています*。
- ※ 電気事業法第29条の規定に基づき国に届け出た「2022年度供給計画」における想定値を使用。供給計画は電力広域的運営推進機関が定める「需要想定要領」に基づき想定しています。

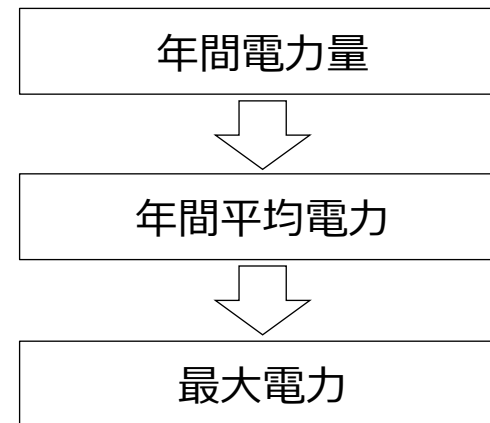
電力量の想定

- 実績傾向や販売見通し、世帯数、経済指標等を考慮して、用途別に販売電力量を想定しています。

低 圧	電 灯	家庭用・街路灯など
	電 力	小規模店舗・工場など
高圧以上	業務用	オフィスビル・商業施設・病院など
	産業用	工場など

最大電力の想定

- 用途別に想定した販売電力量をもとに、用途別の電気の使われ方を考慮した上で想定しています。



2. 前提となる各種見通し

- 用途別の電力量（kWh）想定にあたり、「電灯」の口数は北陸の世帯数、「産業用」の電力量は、鉱工業生産指数（IIP）との相関により算定しています。

	2020 (実績)	2021 (推定実績)	2022 (想定)	2023 (想定)	2024 (想定)	2025 (想定)
北陸の世帯数（万世帯）※1	▲0.1% 116.5	+0.5% 116.9	+0.2% 117.2	+0.0% 117.3	▲0.1% 117.2	▲0.2% 116.9
鉱工業生産指数(IIP)※2 (2015暦年 = 100)	▲9.5% 90.4	+6.6% 96.4	+5.4% 101.6	+0.4% 102.0	+0.4% 102.4	+0.3% 102.7

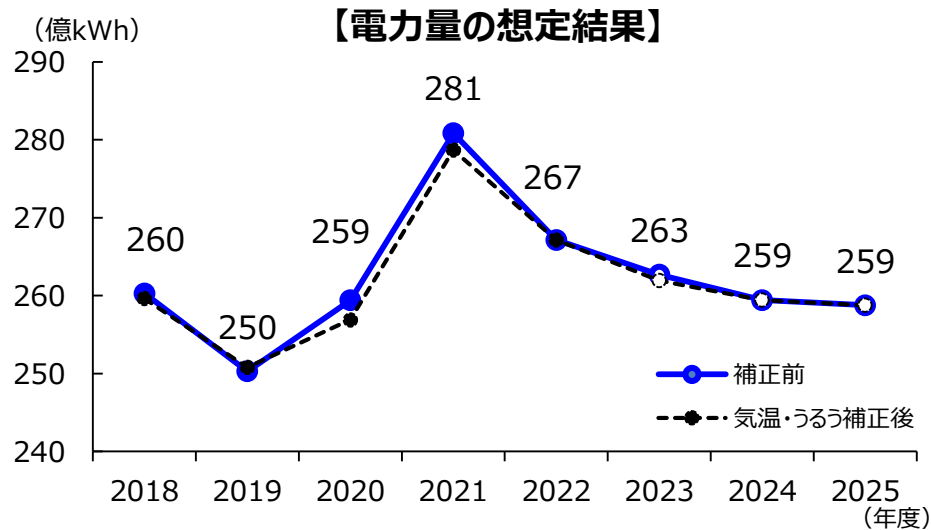
※1 北陸各県が公表する実績や国立社会保障・人口問題研究所の推計値（2019.4公表）を踏まえて設定しています。

※2 電力広域的運営推進機関「2022年度供給計画 電力需要想定的前提となる経済見通し」（2021年11月25日公表）より

※3 表内上段は対前年増加率

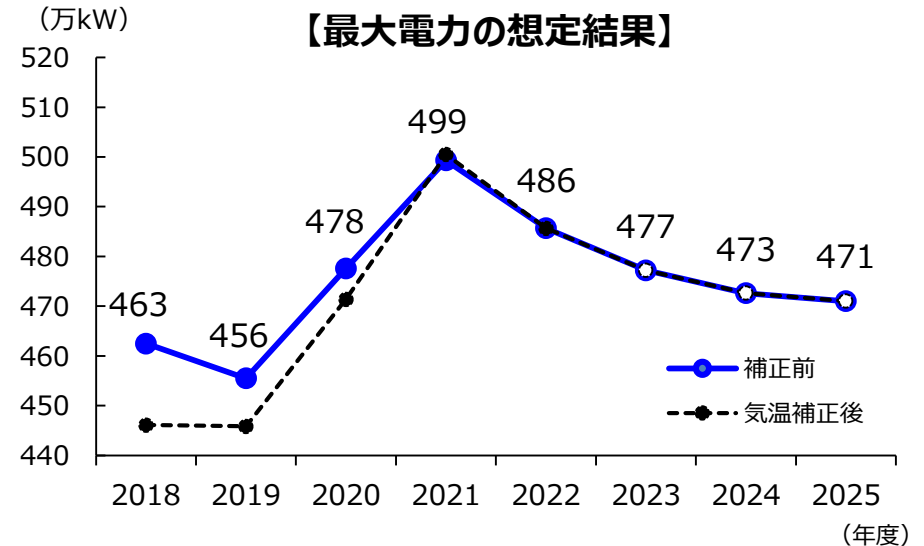
3. 想定結果の概要

- 2023～2025年度は、販売見通しや省エネの進展などを考慮した結果、電力量・最大電力ともに緩やかな減少を見込んでいます。



	2023	2024	2025	2023-2025 平均
電力量	▲2.0% 263	▲1.0% 259	▲0.3% 259	▲1.1% 260

※ 表内上段は対前年増加率（うるう補正後）
2023-2025平均は3年平均増加率



	2023	2024	2025	2023-2025 平均
最大電力	▲1.7% 477	▲1.0% 473	▲0.3% 471	▲1.0% 474

※ 表内上段は対前年増加率
2023-2025平均は3年平均増加率

4-1. 用途別電力量の想定（低圧需要①）

電灯（主要用途）

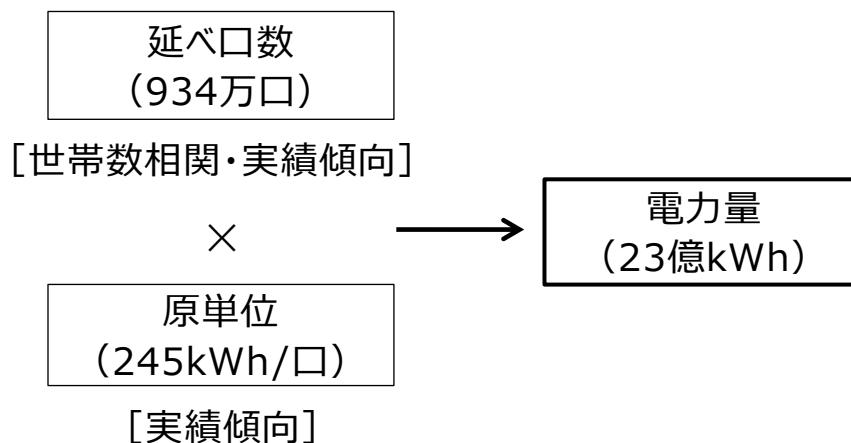
<従量電灯 A B 相当（規制・自由計）※>

- 口数は、電灯の合計口数（北陸の世帯数との相関や離脱影響の実績傾向から想定）から、従量電灯 C 相当および時間帯別電灯の口数を控除して想定しています。
- 原単位（1口あたりの電力量）は、実績傾向から想定しています。
- 想定した口数と原単位を乗じて電力量を算定しています。
（時間帯別電灯・従量電灯 C 相当も同様）

※ 従量電灯 A B 相当には、自由料金メニューの従量電灯相当メニュー（従量電灯ネクスト・使っておとくライト等）を含みます。

【従量電灯 A B 相当の想定フロー】

※ 電灯の合計口数から従量電灯 C 相当・時間帯別電灯分を控除。



※ 延ベ口数とは、各月のお客さま数の年間合計値
※ () 内の数字は2023-2025年度の平均

その他電灯

- その他電灯（定額電灯・公衆街路灯・臨時電灯など）については、契約種別ごとに実績傾向から電力量を想定しています。

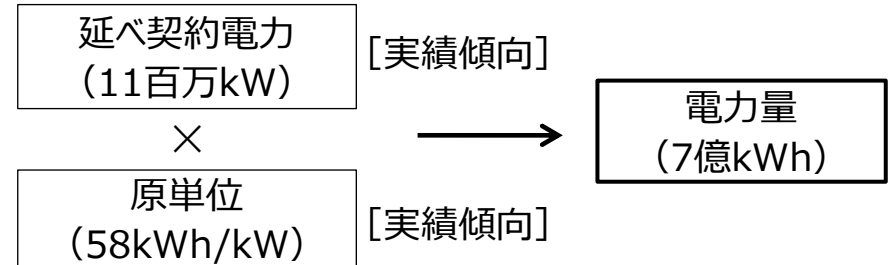
4-2. 用途別電力量の想定（低圧需要②）

低圧電力（規制・自由計）※

- 契約電力と原単位（契約電力あたりの電力量）をそれぞれ実績傾向や、今後の離脱影響を考慮して、想定しています。
- 想定した契約電力と原単位を乗じて電力量を算定しています。

※ 低圧電力には、自由料金メニューの低圧電力メニュー（低圧電力ネクスト・低圧季節別時間帯別電力等）を含みます。

【低圧電力の想定フロー】



※ 延べ契約電力は各月のお客さまの契約電力の年間合計値
 ※ () 内の数字は2023-2025年度の平均
 ※ 端数処理の関係で、計算が合わないことがあります。

その他電力

- その他電力（臨時電力・農事用電力など）は、契約種別ごとに実績傾向から電力量を想定しています。

想定結果の概要（低圧需要）

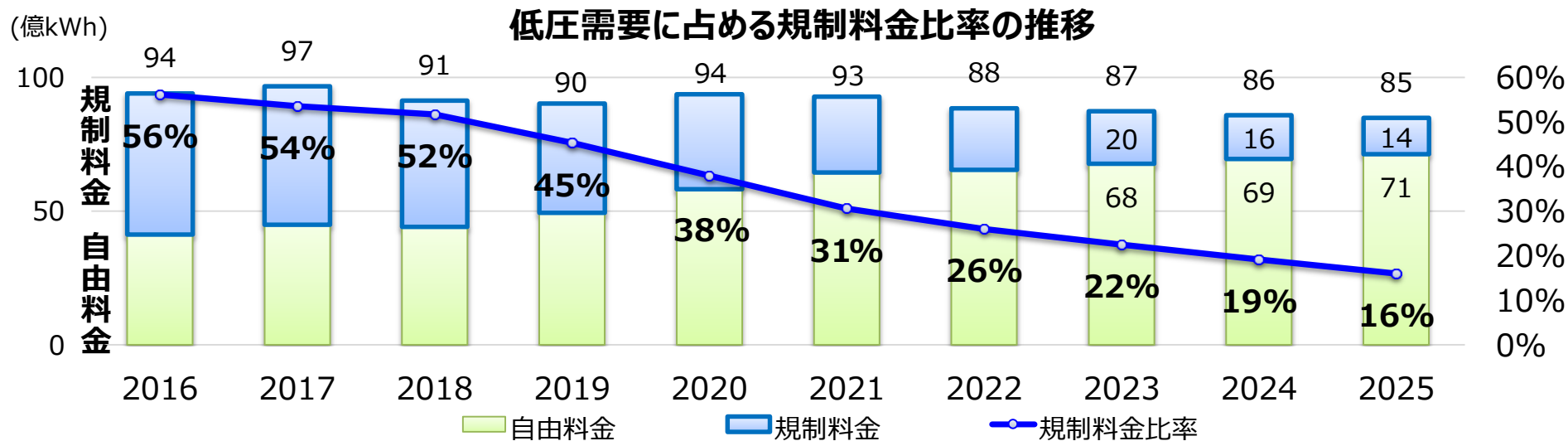
- 電灯は、離脱の影響や、世帯数の減少などから、2023～2025年度平均で1.2%の減少を見込んでいます。
- 電力は、離脱の影響や、小規模店舗・工場の契約電力が減少傾向にあることなどから、2023～2025年度平均で3.1%の減少を見込んでいます。

	2023	2024	2025	(億kWh) 2023-2025平均
電 灯	▲1.4%	▲1.1%	▲1.0%	▲1.2%
	77	76	75	76
従量電灯 A B	24	23	22	23
従量電灯 C	8	7	7	7
時間帯別電灯	43	43	44	43
その他電灯	3	3	3	3
電 力	▲3.3%	▲3.4%	▲2.5%	▲3.1%
	10	10	9	10
低圧電力	7	6	6	7
その他電力	3	3	3	3

※ 表内上段は対前年増加率（うるう補正後）。2023-2025平均は3年平均増加率。
 ※ 規制・自由料金メニュー合計を記載
 ※ 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

4-3. 用途別電力量の想定（低圧需要③）

- 低圧需要における規制料金および自由料金の電力量は、規制料金から自由料金メニューへの移行実績等を踏まえ想定しています。



		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2023-2025 平均
規制料金	電灯	44	43	39	34	30	24	19	16	14	11	14
	電力	9	9	8	7	6	4	4	3	3	2	3
	計	53	52	47	41	36	28	23	20	16	14	17
自由料金	電灯	38	42	41	45	53	58	59	61	63	64	63
	電力	3	3	3	4	6	7	7	7	7	7	7
	計	41	45	44	49	58	64	65	68	69	71	69
低圧需要	電灯	82	85	81	79	83	82	78	77	76	75	76
	電力	12	12	11	11	11	11	10	10	10	9	10
	計	94	97	91	90	94	93	88	87	86	85	86

(億kWh)

※ 端数処理の関係で、合計が合わないことがあります。

4-4. 用途別電力量の想定（高圧以上）

高圧以上

<業務用>

- 契約電力と原単位（契約電力あたりの電力量）をそれぞれ実績傾向や、今後の離脱影響を考慮して、想定しています。
- 想定した契約電力と原単位を乗じて電力量を算定しています。

<産業用>

- 鉱工業生産指数(IIP)との相関により想定した電力量に、今後の離脱影響を考慮して想定しています。

想定結果の概要（高圧以上）

- 業務用は、省エネの進展などから、2023～2025年度平均で0.2%の緩やかな減少を見込んでいます。
- 産業用は、緩やかな経済成長に伴う電力量の増加を見込みますが、離脱の影響から、2023～2025年度平均で1.2%の減少を見込んでいます。

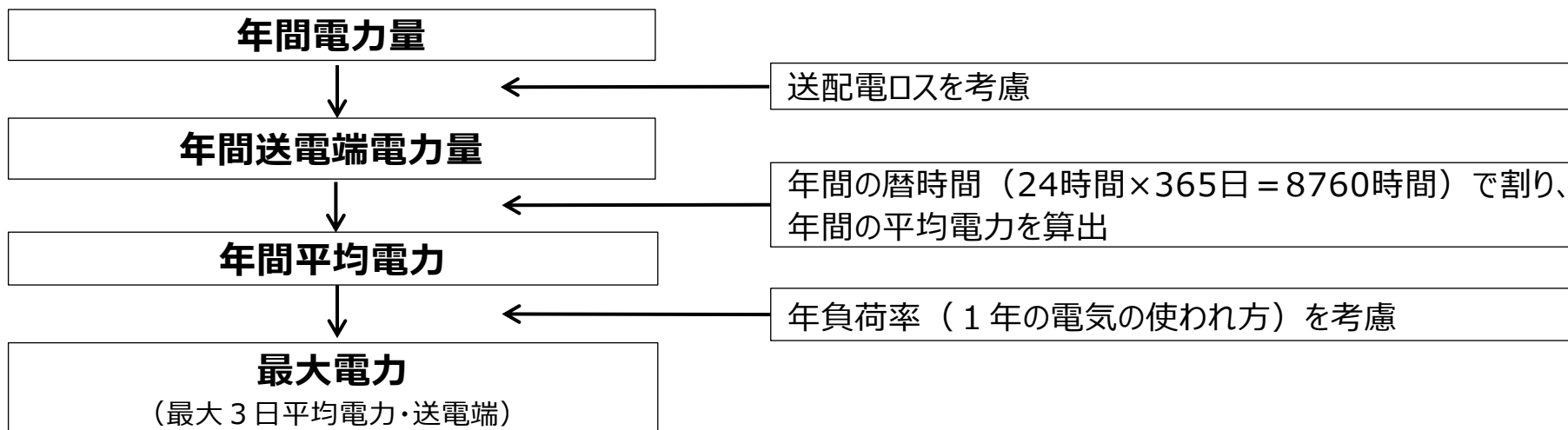
	2023	2024	2025	(億kWh) 2023-2025 平均
業務用	▲0.9% 51	▲0.1% 51	+0.5% 51	▲0.2% 51
産業用	▲2.6% 124	▲1.0% 122	+0.0% 122	▲1.2% 123

※ 表内上段は対前年増加率（うるう補正後）
2023-2025平均は3年平均増加率

5 - 1. 最大電力の想定

- 最大電力の想定は、用途別に、実績傾向などから想定した年間の電力量や1年の電気の使われ方（年負荷率）を考慮して算定しています。

<最大電力の想定フロー>



想定結果の概要（最大電力）

- 電力量の減少に伴い、2023～2025年度平均で1.0%の減少を見込んでいます。

	2023	2024	2025	(万kW) 2023-2025 平均
最大電力	▲1.7% 477	▲1.0% 473	▲0.3% 471	▲1.0% 474

※ 表内上段は対前年増加率
2023-2025平均は3年平均増加率

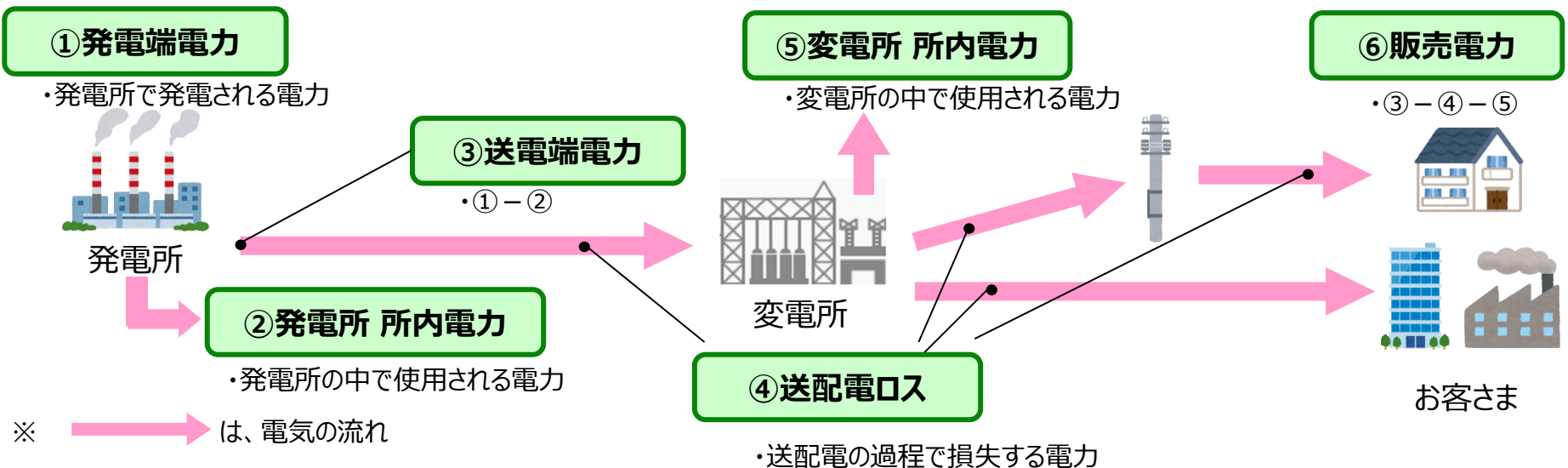
5 - 2. 最大3日平均電力、送電端の説明

最大3日平均電力

- 最大3日平均電力とは、ある期間における毎日の最大電力（1時間値）のうち上位3点を平均したものです。
- 最大電力は、気温などの気象状況により大きく変動するため、供給計画ではその影響度合いが小さくなる上位3日の平均で評価をしています。

送電端電力・販売電力

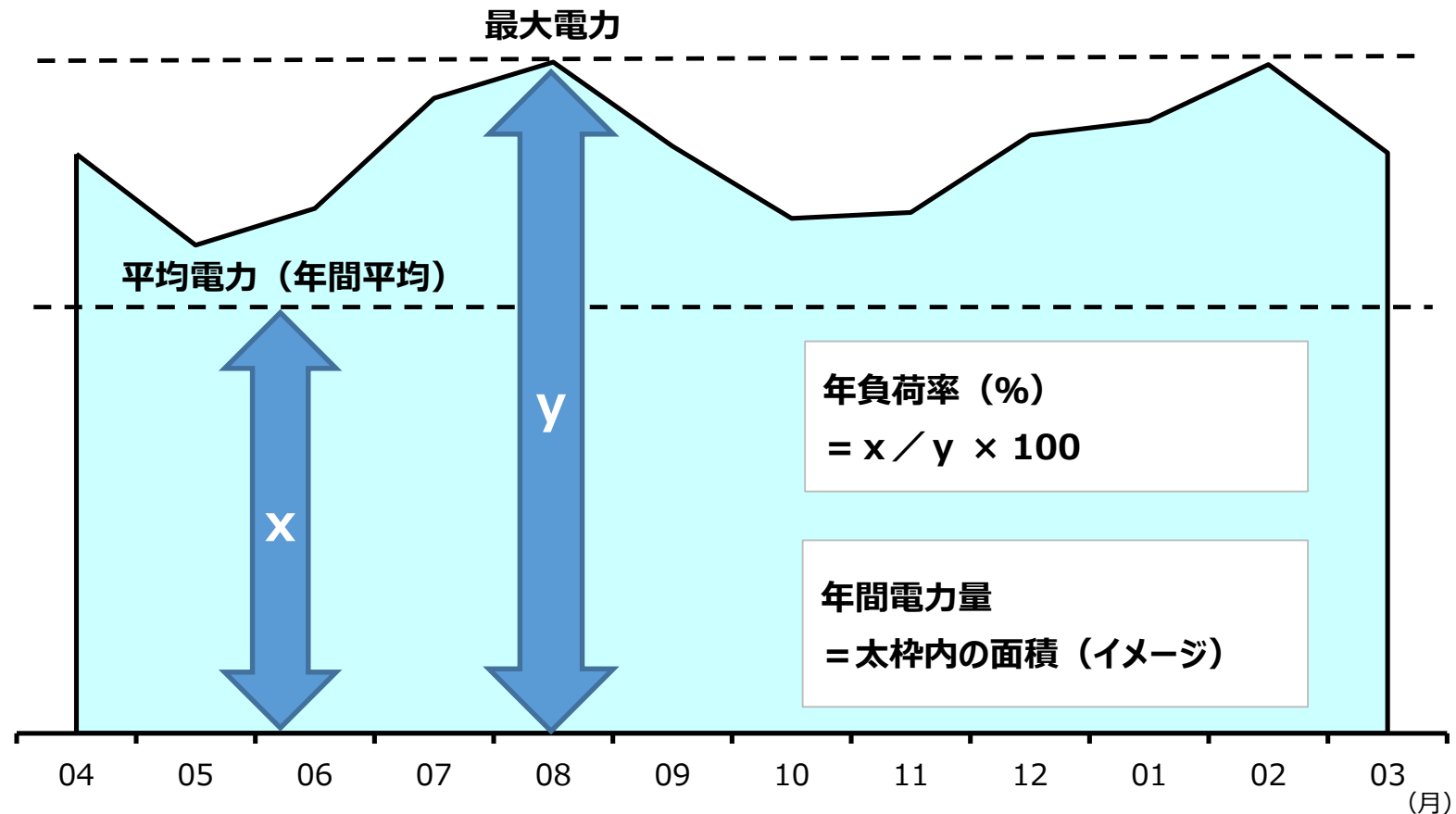
- 送電端電力【下図③】とは、発電所で発電された電力（発電端電力【①】）から、発電所の中で使用される電力（発電所所内電力【②】）を除いたものです。
- 送電端電力【③】から、送・配電の過程で損失する電力（送配電ロス【④】）、変電所の中で使用される電力（変電所所内電力【⑤】）を除いたものが、お客さまへの販売電力【⑥】です。



5 - 3. 年負荷率の説明

年負荷率

- 1年における平均電力（年間平均値）とその年の最大電力の関係を百分率で表したものです。
- 1年の電気の使われ方を反映しており、平均電力と最大電力の差が縮小すると、年負荷率は上昇します。



6. 想定結果詳細

		2020	2021	2022	2023	2024	2025	(億kWh)
								2023-2025 平均
	従量電灯AB	22	18	14	12	10	8	10
	従量電灯C	6	4	3	3	2	1	2
	その他電灯	2	2	2	2	2	2	2
	電灯計	30	24	19	16	14	11	14
	低圧電力	5	4	3	3	2	2	2
	その他電力	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
	電力計	6	4	4	3	3	2	3
	規制料金 計	36	28	23	20	16	14	17
	自由料金 計	224	252	244	243	243	245	244
	合計（使用端）	259	281	267	263	259	259	260

								(万kW)
最大電力 (送電端・最大3日平均)	478	499	486	477	473	471	474	

※ 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

【参考】販売電力量の気温・うるう影響による補正の考え方について

- 需要想定にあたっては、過去の実績傾向を参考にしますが、電力需要は特に夏季や冬季の気温などによって大きく変動します。気温影響は各年における一時的な変動要因であるため、過去実績について気温が平年並みであった場合の値に補正したうえで、将来需要を想定しています。
- うるう年の実績についても、一時的な需要変動であるため、365日ベースに補正したうえで、将来需要を想定しています。

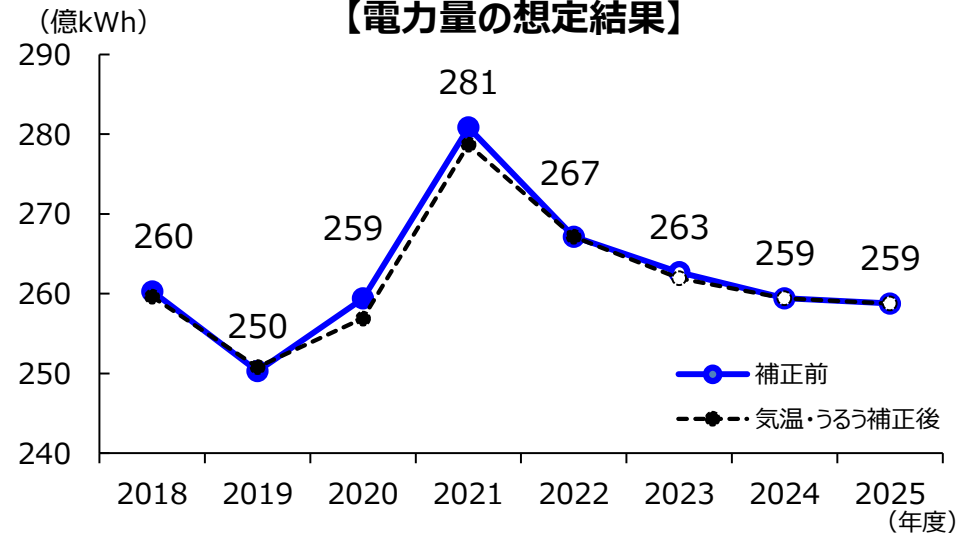
【実績と気温・うるう補正後実績の推移】

(億kWh)

	2018	2019	2020	2021
実績 (1)	260	250	259	281
補正後実績 (2)	260	251	257	279
差 (1)-(2)	+1	▲1	+3	+2
気温影響	+1	▲1	+3	+2
うるう影響	-	+1	-	-

※ 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

【電力量の想定結果】



【参考】過去の需要想定と実績との比較

(億kWh)

		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
電力量	計 画	280	280	280	266	254	255	254
	実 績	275	281	286	260	250	259	281
計画差 (上段は計画比)		98.3% ▲5	100.3% +1	102.3% +7	98.0% ▲5	98.4% ▲4	101.6% +4	110.5% +27
気温影響		▲3	▲0	+3	1	▲1	+3	+2
その他影響		▲2	+1	+3	▲6	▲3	+2	+24
低圧需要		+0	+0	+0	▲2	▲3	+0	+3
自由料金		▲2	+1	+3	▲4	+0	+1	+21

※ 端数処理の関係で合計が合わないことがあります。
低圧需要には、使っておくライトや時間帯別電灯等の低圧自由料金メニューを含みます。

契約電力減などの
影響

暖冬に伴う融雪
需要減などの影響

コロナ禍からの景気
回復などの影響

外出自粛の影響
などによる電灯需
要増加影響